

カッパはつかれる



中松まるは
井上莉沙。絵

それは、とてもあついでの午後のこと。

ピコピコギョオン、ギャンギャンギャン。

ねころんで、そんな音ばかり鳴らしていたら、しかられた。

「こら。いい若いもんがゲームばかりして！」

顔をむけると、かあちゃんがにらんでいた。

かあちゃんの前には、パソコン。手はキーボードに置か

れたまま。かあちゃんは、この時間はいつも童話を書いて
いるのだ。

「せっかく夏休みになったんでしょ。小学生なら、もっと
有意義に時間を使いなさい」

ぼくは、ケータイ型のゲーム機のふたとじ、いいかえ
した。

「だから、有意義に使ってんじゃん。ゲームは、日本が世
界にほこる文化です」

「こどもは外に遊びに行くものよ。そして出会い、恋をし、
少年は成長して帰ってくるのであった。ああ、感動」